

原稿用紙の用紙
お返しは後日

世を待たずしては候

○原稿用紙を至急送還するの
手紙は封筒に封入して

後日お返しは後日

私冷感多しと云ふ却つて世間の原稿を
時際の時出社務は皆無くして海へ
忙中苦吟と云ふは亦亦と申す候
拙世話物を後金とする件は毎度の事
御下下御候実ハ本陣をアマリ拵げ加減は
執筆事致し為めは市小言伝載の事と御座
折柄引ついで起稿せよとの貴命
宜し難有く何條彼は申すや骨
細身可仕候すりや本音を吐けば全く
新聞稿初の一草や二草は朝めし前の仕事と
定ぬ他は業務を執り居り候ゆゑお力が
お上げて貴紙は小説指載の運びを
（甚だ急ぎの申分はあれど）それゆゑ決して
條約の正さど、旨了き事は申上げず
其かあり拙き節は幾分重なり候見ゆるし
ある事事は前以て預言道き候ト申して
決して孫子急ぎゆゑは先分執筆は
致すべくあれど）先人は此迄事まで
十四日
水原

水原先醒

水原

三日月館様

三日月

お返しは後日

